

# 佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート

2023年  
2・3月号

令和4年度 佐賀大学 教職大学院 シンポジウム・研究成果発表会

標記の会を、令和5年2月28日(火)、3月2日(木)に開催しました。1日目はシンポジウムと修士課程2年生(以下、M2)の現職派遣等院生による発表会を、2日目は、M2の一般学生等院生による発表会を行いました。今号では、その様子を紹介します。

## 【シンポジウム「高等学校におけるコミュニティ・スクールの意義と課題」】

今年度は、本教職大学院の荻野亮吾准教授による基調講演に続いて、シンポジストの上赤真澄課長(佐賀県教育庁教育振興課)、中西美香主幹教諭<sup>\*1</sup>(有田工業高校)、江口若香子主幹教諭<sup>\*2</sup>(鹿島高校)の3名が、高校魅力化に向けた県教育委員会の取組や、高校での実践等を報告されました。シンポジウムを通して、コミュニティ・スクールの運営方法や高校に導入することの意義や課題等について考えることができました。

(<sup>\*1</sup>本教職大学院前客員准教授、<sup>\*2</sup>本教職大学院客員准教授)



## 【M2 研究成果発表会(現職派遣等院生：2月28日午後)(一般学生等院生：3月2日午前)】

M2の皆さんの2年間の研究成果発表を聞くことで、自身の研究に生かしたり、新たな学びを得たりする機会となりました。M2の皆さんが、素晴らしい発表をされる姿を拝見し、私たち修士課程1年生(以下、M1)も、1年後に、研究成果を得られるよう、今後もじっくりと研究に向き合っていきたいと決意を新たにしました。以下に、M2の研究成果発表会に参加した際の感想や来年度に向けた思いを紹介します。



### 〈授業実践探究コース〉

先輩方の発表を聞いて、自身の研究に繋がるような内容や、分析方法などを学ぶことができ、良い機会となった。今のうちに研究計画や分析の視点などを検討し、より自分の研究に磨きをかけていきたい。(一般学生等院生)

### 〈子ども支援探究コース〉

学校現場の様々な問題を改善、解決するために研究されていて、自身の研究に生かすと共に、教員になった時に参考にしたいと思います。来年度は、試行錯誤しながら計画的に研究を進めていきたいです。(一般学生等院生)

### 〈教育経営探究コース〉

他大学教員など学外からの参加があり、注目の高さを感じました。また、それぞれのテーマが学校現場の課題を解決につなげるものであり、研究が学校のよりよい学びの場となるための実践に直結していると感じました。私たちM1も自身の研究の意義を信じて、よりいっそう研究に励む力にすることができたと思います。現職はまもなく現場での実習となります。業務と研究の日々がどれほどのものかは想像できませんが、これまで1年間の準備を実践に生かせるよう一步一步進んでいけたらと思います。(現職派遣等院生)